

第118回取締役会の内容について

IGRいわて銀河鉄道株式会社(代表取締役社長 鈴木敦)では、「第118回取締役会」を開催しました。主な内容は、以下のとおりです。

【資料1】2025年度上半期の輸送概況について ······ p.1

【資料2】アクションプラン 2025上半期の取組状況について ······ p.2~3

【資料3】2025年度決算見通しについて ······ p.4

※お問い合わせにつきましては、本日 17 時 00 分まで受け付けますので、下記担当までご連絡ください。

2025年度上半期の輸送概況について

◇ 輸送人員

【単位：人/日】

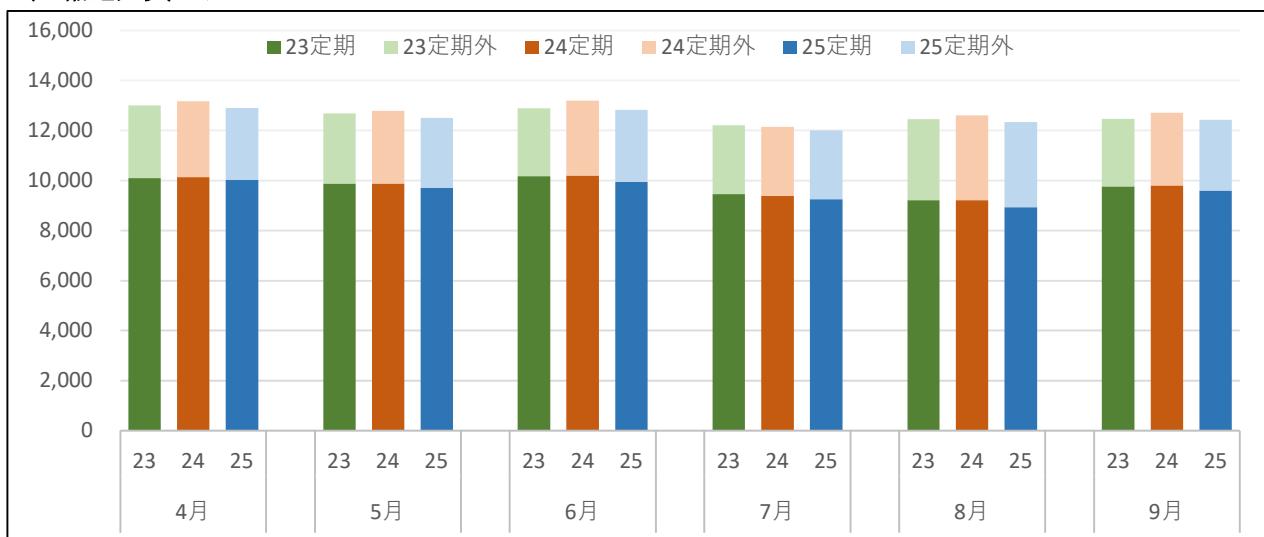
| | 2025年度 | 2024年度 | 増減 | 対比 | 2023年度 | 増減 | 対比 |
|-----|--------|--------|-------|-----|--------|-------|------|
| 定期 | 9,574 | 9,768 | △ 194 | 98% | 9,760 | △ 186 | 98% |
| 通勤 | 3,874 | 3,936 | △ 62 | 98% | 3,898 | △ 24 | 99% |
| 通学 | 5,700 | 5,832 | △ 132 | 98% | 5,862 | △ 162 | 97% |
| 定期外 | 2,924 | 2,995 | △ 71 | 98% | 2,856 | 68 | 102% |
| 合計 | 12,498 | 12,763 | △ 265 | 98% | 12,616 | △ 118 | 99% |

◇ 旅客運輸収入

【単位：百万円】

| | 2025年度 | 2024年度 | 増減 | 対比 | 2023年度 | 増減 | 対比 |
|-----|--------|--------|----|------|--------|----|------|
| 定期 | 275 | 262 | 13 | 105% | 260 | 15 | 106% |
| 通勤 | 136 | 136 | 0 | 100% | 132 | 4 | 103% |
| 通学 | 139 | 126 | 13 | 110% | 128 | 11 | 109% |
| 定期外 | 275 | 270 | 5 | 102% | 264 | 11 | 104% |
| 合計 | 550 | 532 | 18 | 103% | 524 | 26 | 105% |

◇ 輸送人員グラフ



◇ 概況

【定期】

輸送人員については、2024年同期比で98%となったものの、旅客運輸収入は2024年同期比で105%となった。通勤定期については、盛岡近郊を中心とした近距離利用は堅調に推移しているが、中・長距離区間の利用が減少したことにより、旅客運輸収入は2024年度同期比100%となった。

通学定期は、近距離区間で減少が見られたものの、中・長距離区間の利用が維持されたため、旅客運輸収入は2024年度同期比110%となった。

【定期外】

輸送人員は2024年度同期比で98%となったが、普通券や回数券の収入が増加したほか、寝台列車の運行本数が増えたことにより、旅客運輸収入は2024年同期比と102%となった。

アクションプラン2025 上半期の取組状況について

1. 概要

「経営ビジョン（2023～2032）」及び「中期経営計画（前期：2023～2027）」に基づく単年度の行動計画である「アクションプラン2025」の上半期における取組状況について報告します。

2. 2025年度上半期の主な取組内容

I 【信頼される鉄道】

安全・安定を第一に、安心して利用できる鉄道であり続けます

- ①JR貨物が主催する脱線復旧訓練や三陸鉄道が主催する異常時運転取扱訓練への参加等を通じ、緊急時に迅速かつ的確な対応ができるよう技術力・安全意識の継承に努めました。
- ②春と秋の全国交通安全運動に合わせて、境田川原踏切において、関係機関と連携して沿線住民に踏切事故の注意喚起を行いました。
沿線の学校での鉄道安全教室の実施や踏切安全啓発チラシを沿線の学校や公共施設等に配布するなど、安全啓発活動を実施しました。
- ③運行管理システム更新工事やロングレール交換工事、支持物取替工事等を計画的に行いました。設備品質の維持・向上を図り、鉄道施設の信頼性確保に努めました。
- ④国が改正踏切道改良促進法に基づき定める「災害時の管理の方法等を定めるべき踏切道」に九戸通踏切が2023年8月に指定されることを受け、警察や消防、自治体と連携し異常時対応訓練を実施しました。



①三陸鉄道主催異常時
運転取扱訓練



②鉄道安全教室（青山駅）

II 【元気な地域】

暮らしやすく、にぎわいのある地域づくりに貢献します

- ①3月に実施したダイヤ改正の検証を各現業箇所と行いました。
また、乗降調査を実施し、お客様の利用実態及び次期ダイヤ改正に向けた意見を収集しました。引き続きお客様にご利用頂きやすいダイヤを目指します。



③各地の専門解説員から
学ぶ旅する南部塾

②小学生向けの「ぎんが列車 自由研究お助け隊」を一戸町と連携して世界遺産御所野遺跡を会場にして開催したほか、青い森鉄道と連携し、両社の車両が連結する「青鉄連結号」や盛岡駅ー青森駅間をノンストップで運行する「夜行快速もりおか・あおもり」を運行しました。

③地域の歴史に着目した「旅する南部塾」や「歴史街道を歩く」など、テーマ別シリーズツアーワークの造成及び販売を行いました。引き続き沿線への誘客を図るほか、地域の魅力を掘り起こしに取り組みます。

④県内外のイベントで当社及び沿線の魅力の発信に努めたほか、鉄道写真家中井精也氏を一戸町に招きトークイベントを開催する等、沿線の交流人口の拡大に取り組みました。

⑤沿線関係者と一緒にマイレール意識の向上を図るため、三愛学舎と連携して、学校生活や通学風景を捉えたポスターを作成しました。作成にあたっては、普段から当社線を利用している生徒の皆様にご協力いただきました。



④鉄道写真家 中井精也氏によるゆる鉄トーク in 一戸



⑤三愛学舎とのコラボポスター（一部抜粋）

III 【挑戦する組織】

常にチャレンジ精神をもち、成長する企業をめざします

①工事費及び維持管理費の低減を図るため、工法の見直しや鉄道設備のスリム化、長寿命化に向けた検討及び施工に取り組みました。

②バリアフリー研修や技術勉強会等、旅客サービスの向上や技術力の向上に資する研修への参加を促進しました。

③社員の企画・実行力の向上を目的とした社内研修の一環で、廃棄する被服を活用した新商品を開発し、県内外のイベントで発売しました。

④社内企画公募制度を活用し、収入確保に資する企画募集を行いました。今後、企画の実現に向けて検討を進めていきます。



③廃棄する被服を活用した新商品



④社内企画公募制度選考会

2025年度決算見通しについて

| 【概要】 | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| ■営業損益 ▲268,215千円 (当初計画比:▲1,945千円、前年比:▲72,683千円) | | | | | |
| 営業収入は、中長距離区間の利用減少などにより旅客運輸収入が当初計画を下回った一方、当社の広告媒体を活用した事業の強化により関連事業収入が当初計画を上回った。営業費は、国による電力料金への支援や各種経費の見直し等により業務費が当初計画を下回った。営業損益は268,215千円の赤字と当初計画から1,945千円下回る見通し。 | | | | | |
| ■当期損益 25,371千円 (当初計画比:▲7,566千円、前年比:▲88,702千円) | | | | | |
| 県・沿線市町による経営安定化対策交付金(300,000千円)を営業外収益に計上したことや2025年9月2日に発生した奥中山高原駅構内大雨被害に係る復旧費用等を計上したことで、当期損益は25,371千円と3期連続で黒字を確保できる見通し。 | | | | | |

(単位:千円、税抜)

| 項目 | 2025年度 決算見通し A | 2025年度 当初計画 B | 増減 C (A-B) | 理由 | 2024年度 決算 D |
|------------------------|----------------------|---------------------|------------------|--|-------------------|
| 営業収入 | 4,161,836 | 4,180,109 | ▲ 18,273 | | 4,096,236 |
| 旅客運輸収入 | 1,094,678 | 1,122,560 | ▲ 27,882 | 中長距離区間の利用減少 | 1,055,878 |
| 線路使用料収入 | 2,832,188 | 2,838,578 | ▲ 6,390 | | 2,843,575 |
| 運輸雑収 関連事業収入 商品売上 | 234,970 | 218,971 | 15,999 | 広告料収入等の増 | 196,783 |
| 営業費 | 4,430,051 | 4,446,379 | ▲ 16,328 | | 4,291,769 |
| 人件費 | 1,109,648 | 1,108,595 | 1,053 | | 1,016,972 |
| 業務費 | 778,269 | 793,883 | ▲ 15,614 | ・電力費の減 ・各種経費の見直しによる減 | 682,607 |
| 修繕経費 | 2,002,303 | 2,003,414 | ▲ 1,111 | | 2,043,590 |
| 諸税 | 164,925 | 164,981 | ▲ 56 | | 160,819 |
| 減価償却費 | 374,906 | 375,506 | ▲ 600 | | 387,779 |
| 営業損益 | ▲ 268,215 | ▲ 266,270 | ▲ 1,945 | | ▲ 195,532 |
| 営業外収益 | 315,690 | 314,778 | 912 | 銀河鉄道経営安定化対策交付金 (300,000千円) | 331,797 |
| 営業外費用 | 38,735 | 38,265 | 470 | | 24,344 |
| 経常損益 | 8,740 | 10,243 | ▲ 1,503 | | 111,920 |
| 特別利益 | 201,317 | 191,320 | 9,997 | 9月2日に発生した大雨被害による保険 金収入等の計上(3,930千円) | 170,562 |
| 特別損失 | 166,701 | 151,634 | 15,067 | 上記大雨被害による災害損失の計上 (9,000千円) | 132,705 |
| 税引前当期損益 | 43,356 | 49,929 | ▲ 6,573 | | 149,777 |
| 法人税等 | 17,136 | 18,333 | ▲ 1,197 | | 22,803 |
| 法人税等調整額 | 849 | ▲ 1,341 | 2,190 | 税効果会計適用による会計処理上の調整 | 12,900 |
| 当期損益 | 25,371 | 32,937 | ▲ 7,566 | | 114,073 |

※千円未満端数処理の関係で、各項目の合計と合致しない場合がある。